

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を提供する

小児救急看護認定看護師を中心とした急変対応・異常早期発見の勉強会を実施した。その結果、3名の患者の状態変化に早期に対応でき、ICU 転棟など適切なタイミングで治療へ繋げることができた。日々の業務・看護の中で倫理的な課題を抽出し 4 回倫理カンファレンスを実施した。患児のニーズの多様化により倫理的課題に直面する場面は今後も更に増えていくことが考えられるため今後も課題の抽出を行う。

2) 病院経営に参画する

病床利用率は 62.8%であった。他部署からの支援を得ながら小児入院医療管理料 1、夜勤看護体制 9:1 を維持することができた。入退院支援加算 1 の算定件数は 1191 件であった。入退院支援加算 3 の算定件数は 7 件であり、昨年度より算定件数は増加した。療育支援体制加算の全例算定するために、入院時チェックリストを活用し全患者算定できた。

各勤務帯の時間外勤務の要因分析を行った。緊急入院処理での時間外勤務が多いため、早出・深夜看護師業務の見直しを行い、アシスタントへのタスクシフトを行った。病棟スタッフへアンケートを実施し、アンケート結果をもとに深夜業務の SPD 物品補充とシーツ交換等をアシスタント、クラークへタスクシフトすることができた。それに伴い、深夜業務に入院時チェックリストで実施できていない項目について業務分担することができた。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

転倒 5 件、転落 16 件であった。転落 16 件のうち、12 件が小児ベッドからの転落であった。後期は入院時の説明として、柵を常時上段まで上げること、柵が下がっている場面を見かけたらその都度上げるように促すことをスタッフ全員へ指導をおこなった。結果として、後期は転倒 1 件、転落 5 件へと減少し、転倒による 3b 事案のインシデント発生はなかった。

薬剤に関するインシデントは 57 件であった。インシデント総数における 38%が薬剤に関するインシデントであった。薬剤に関するインシデントのうち内服薬に関するものが 34 件、点滴・貼用薬・吸入薬・座薬などの薬剤に関するものが 32 件であった。内服薬に関するインシデントのうち看護師管理のインシデントが 13 件でそのうち 80%が 6R の確認不足に関するインシデントであった。誤薬に関する 3b 以上のインシデントは、発生していない。

COVID-19 を含めた感染症の入院の受け入れを行い、病棟内でアウトブレイクは発生しなかった。また、病棟看護師がインフルエンザ等の感染症に罹患した場合にスタッフ間での感染拡大はなかった。標準予防策の手指衛生監査を行い、前期は患者に触れる前 37%、触れた後 53%の実施率であった。後期は 3 回監査を行い、監査時に指導したことで、患者に触れる前後ともに平均 80%以上を維持できている。経路別、場面別感染対策では、特に COVID-19 対応時の感染対策はスタッフの意識が高く、マニュアルに沿った対策が行えていた。結果として、今年度はアウトブレイク 0 件であった。

4) 専門職としての能力開発に努める

院内研修資料の共有ファイルを作成し、開催された研修内容が病棟全体で共有できるように努めた。ラダー申請の希望があったラダー I ~ III の研修受講者には、研修後の OJT が計画的に進

められるように、必要時、個別に声かけを行った。小児科、小児外科に関わらず、病棟に入院している患者に対して、全診療科の看護を実践している。

5) 看護の先輩として学生に関わる

実習の専任化を継続した。前年度は実習指導評価平均点が 4.8 点(5 点満点)であり、今年度 1 月時点までの平均点は 4.8 点であった。

6) 活気ある職場、元気の出る職場作りを推進する。

QC 活動として保育士と連携し、患児の遊びの充実を図るため、おもちゃのデリバリーサービスに取り組んだ。1 月より保育士にておもちゃのデリバリーサービスを開始し、子どもや家族から好評である。

PNS[®]マインドについての意識向上に努め他者評価では○の割合が 100%となった。

2. 病床運営状況

表 1 令和 5 年度 病床運営状況

収容可能 病床数(床)	診療科名	月平均		平均在院 患者数(人)	平均在院 日数(日)	病床 利用率(%)	病床 稼働率(%)
		新入院患者数(人)	退院患者数(人)				
50	小児科 小児外科	196	198	31.4	4.9	62.8	75.8

重症加算病床		有料個室		死亡者数(人)
病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)	
				2

3. 看護体制

表 2 令和 5 年度 看護体制(令和 5 年 4 月 1 日現在)

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
44	PNS [®]	5:5

4. 看護統計

1) 部署データ

令和 5 年度小児入院医療管理料 1 算定率:91.9% (令和 4 年度 算定率:90.3%)

令和 5 年度年間患者取扱数 予定入院:1117 名 緊急入院:1234 名 転入:60 名

